


# ジカウイルス感染症への対応状況について

# これまでの経緯と日本の対応(6月以降)

- 6月7日、WHOが、性行為によるジカウイルスの感染予防についてのガイダンスを変更し、流行地からの帰国者に対する安全な性行為を推奨する期間を4週間から8週間に変更したことを受け、厚生労働省は、6月8日に、HPのQ&Aにおいて、4週間から8週間に変更。
- 6月14日、WHOは、緊急委員会(第3回)を開催し、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開催によるジカウイルスの更なる国際的な感染拡大が起こるリスクは極めて低いと結論。
- 7月14日、国立感染症研究所は、蚊媒介感染症の診療ガイドライン(第3版)を改訂し、検査対象となりうる妊婦の要件に性行為歴を追加。
- 8月22日、国立感染症研究所は、ジカウイルス感染症診療Q&Aを作成。
- 9月1日、WHOは、緊急委員会(第4回)を開催し、リオデジャネイロオリンピック参加者の中でジカウイルスに感染した者はいなかったことを報告するとともに、ジカウイルス感染症が地理的に拡大していることに鑑み、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」は継続すると結論。(第5回は3か月後に開催予定)。
- 9月1日、厚生労働省は、ジカウイルス感染症に関し、注意喚起を継続するよう、自治体、検疫所、日本医師会、観光庁あてに連絡。
- 9月6日、WHOが、ガイダンスを変更し、流行地からの帰国者に対する安全な性行為を推奨する期間を8週間から6か月に変更したことを受け、9月23日に、第18回厚生科学審議会感染症部会を持ち回りで開催し、審議結果を踏まえ、厚生労働省HPのQ&Aにおいても、8週間から6か月に変更。
- 9月26日に、国立感染症研究所は、「デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き 地方公共団体向け」を改訂し、疫学調査様式に性行為に関する項目を追加。

# 中南米地域、米国フロリダ州の一部、 東南アジアなどで 「ジカウイルス感染症」 が流行しています！



流行地域からの帰国者で心配な方は、検疫官に申し出てください



## 流行地域に渡航された方へ（帰国後の注意事項）

- ・蚊に刺されたというだけで過度に心配する必要はありませんが、心配なことや発熱等の症状のある方は、検疫所にご相談ください。
- ・国内でのウイルス拡散防止のため、帰国後少なくとも2週間程度は、忌避剤（虫除けスプレー等）を使用するなどして蚊に刺されないようにしてください。
- ・流行地域から帰国した男女は、性行為感染等のリスクを考慮し、症状の有無にかかわらず、最低6か月（パートナーが妊婦の場合は妊娠期間中）性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えてください。
- ・心配なことや発熱等の症状が出た方は、最寄りの保健所等にご相談ください。

帰国時の注意事項など詳しくは →

検疫所ホームページ FORTH  
<http://www.forth.go.jp>

FORTH ジカ

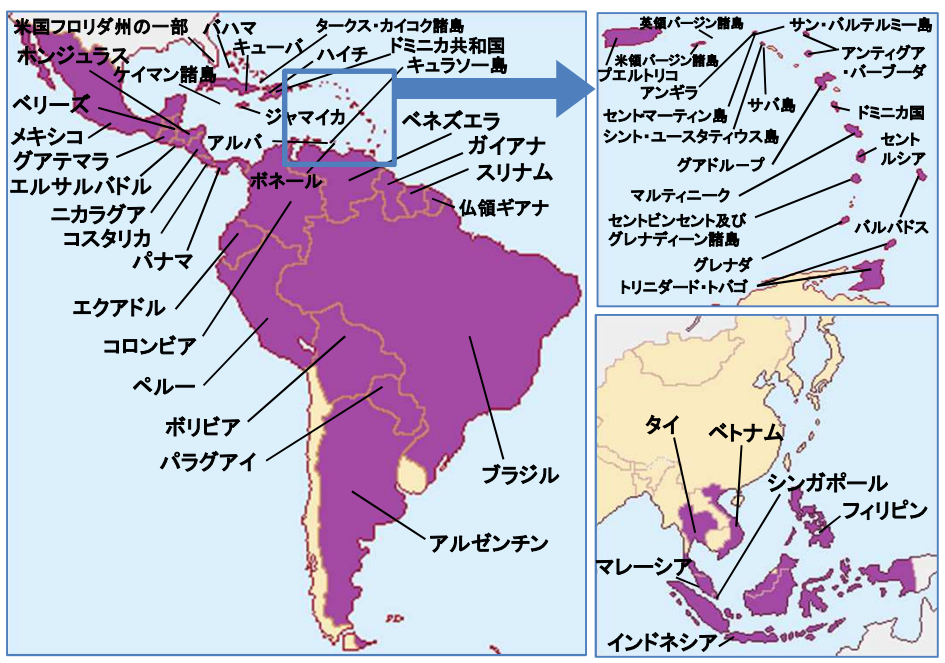


## ジカウイルス感染症

**【症状】**  
主として軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛、倦怠感、頭痛など

**【感染経路】**  
ジカウイルスを持った蚊がヒトを吸血することで感染します。輸血や性行為によって感染する場合があります。感染しても全員が発症するわけではなく、症状がないか、症状が軽いいため気付かないこともあります。

**【流行地域】**  
アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年は中南米で流行が拡大しています。また、中南米以外（米領サモア、フィジー、ミクロネシア連邦コスラエ州、マーシャル諸島、ニューカレドニア、パプアニューギニア、サモア、トンガ、カーボベルデ、米国フロリダ州の一部、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア）でも発生しています。



※平成28年9月6日現在 中南米及びアジアにおける流行地域

## ジカウイルス感染症の流行地域※1 (2016年9月27日更新)

アフリカ、中央・南アメリカ、アジア太平洋地域で発生があります。特に、近年は中南米等で流行しています。

### ○中南米・カリブ海地域

アンギラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ボリビア、ボネール、ブラジル、英領バージン諸島、ケイマン諸島、コロンビア、プエルトリコ、コスタリカ、キューバ、キュラソー島、ドミニカ国、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、仏領ギアナ、グレナダ、グアドループ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、マルティニーク、メキシコ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、サバ島、サン・バルテルミー島、セントクリストファー・ネーヴィス、セントルシア、セント・マーティン島(仏領サン・マルタン及び蘭領 Sint-Martin)、セントビンセント及びグレナディーン諸島、シント・ユースタティウス島、スリナム、トリニダード・トバゴ、タークス・カイコス諸島、米領バージン諸島、ベネズエラ

### ○オセアニア太平洋諸島

米領サモア、フィジー、ミクロネシア連邦コスラエ州、マーシャル諸島、ニューカレドニア、バプアニューギニア、サモア、トンガ

### ○アフリカ

カーボベルデ

### ○アジア地域

インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

### ○北米地域

米国フロリダ州の一部(※2)

※1 米国 CDC 報告の発生地域(2016年9月26日現在)及び ECDC 報告の発生地域の一部  
ただし、標高2000m以上の地域はリスクが低いとされています。

[※2 米国におけるジカウイルス感染症の発生状況](#)

最新の情報は以下のHPを確認してください。

[米国CDC](#)

[ECDC](#)